



〔放送日〕

令和6年9月～令和7年2月の毎月第1・3日曜日
(9月・1月は第3日曜日のみ)

〔放送時間〕

午前10時30分～10時50分

和歌山県教育委員会では、教育のめざす方向性やその時々々の教育課題について、新しい取り組みや学校・地域の特色ある取り組みなどを取り上げ、放送しています。

令和6年度番組一覧

企画提供／和歌山県教育委員会 制作・放送／テレビ和歌山

放送日	番組名・内容
9月15日	特別展 よみがえるワカヤマソウリユウ～明らかになったその姿～ 有田川町で発見され、令和5年に新属新種となったモササウルスの仲間、メガプテリギウス・ワカヤマエンシス(通称ワカヤマソウリユウ)。今回の特別展ではすべての化石を展示するとともに、研究で明らかになったユニークな姿を紹介します。
10月6日	すべてのこどもに豊かな教育を～県立特別支援学校のセンター的機能を通して～ 県内10校の県立特別支援学校は、地域の特別支援教育を支える拠点校としてセンター的な機能を発揮することが求められています。授業づくりをはじめ、地域の小中高等学校の教員とともに研修活動や地域での相談支援活動など、様々な取り組みを紹介します。
10月20日	「本」でつながる、あなたとわたし～読書の輪を広げるために～ 県教育委員会では、こどもから大人まで年齢に関係なく読書を楽しむ習慣をつくり、本をきっかけに人と人がつながる良さを広めようとしています。ブックイベント「読書しない読書会」や、県内各地での取り組みの様子について紹介します。
11月3日	ともに学び、ともに生きる社会へ～障害のある方々の「学び」を応援!!～ 「障害者のための生涯学習」として、「一妻会ゆめ・やりたいこと実現センター」や「ViVifala 島ゆかこ」で行われる取り組みの様子や、今年度から県教育委員会で始めた「障害者のための生涯学習支援者派遣事業 出張まなび講座」について紹介します。
11月17日	ホンモノに触れて豊かな学びを～近代美術館・博物館を活用した学習・鑑賞の充実～ 県内の小学校や特別支援学校の児童生徒が、県立近代美術館・博物館の保有する優れた教育資源に触れる機会を創出します。学芸員が鑑賞を支援しながら、ホンモノの芸術作品や文化財等に触れることを通じて、こどもたちの豊かな教養や感性を育てる取り組みを紹介します。
12月1日	いざという時のために～防災学習の取り組み～ 近い将来発生が危惧されている「南海トラフ巨大地震」をはじめ、予測困難な災害に備え、こどもたちが主体的に考え、判断、行動し、自他の命を守ることができる力を、防災学習を通じて育むことが大切です。いざという時のために、防災学習に取り組むこどもたちの姿を紹介します。
12月15日	学校における人権教育の取り組み～人権教育リーダー養成講座の授業実践から～ 県教育委員会では、毎年、人権教育リーダー養成講座を通じて、自校で授業実践を行い、『自分の大切さとともに他の人の大切さを認め、人権が尊重される社会づくりに向けた行動につなげる』という人権教育の目標の実現に向けて取り組んでいます。今回は、講座の様子と那智勝浦町立太田小学校等での授業実践を紹介します。
1月19日	広い世界にはばたく人材の育成～県立高等学校における探究型学習への取り組み～ 和歌山県では探究的な見方・考え方を通じて、自身の生き方を考えていくための資質・能力の育成を目標の一つにしています。それぞれの県立高等学校が行っている特色ある取り組みと探究型学習の中で頑張る生徒や先生の姿を紹介します。
2月2日	こんな学校にしていきたい!有田市立有和中学校～開校1年目の取り組み～ 令和6年4月、有田市内の全ての中学校(箕島中学校・保田中学校・文成中学校・初島中学校)が統合し、有和中学校が開校しました。それぞれの学校の伝統を継承しながら、生徒と教職員によって、新たな魅力にあふれる学校がつけられていきます。生徒一人一人が主役となり、生き生きと学ぶ生徒の姿を紹介します。
2月16日	若手教員の学びと活躍～未来の和歌山の担い手を育む～ こどもたちを取り巻く環境が大きく変化し続ける中、教員も絶えず新しいアイデアを実践し、学び続けることが必要です。未来の和歌山の担い手となるこどもたちを育てるため、日々、こどもたちを指導するとともに、これからの教育を支えていくため、学び続ける若手教員の姿を紹介します。

- ・すべての番組に手話通訳がつきます。 ※番組内容、放送時間は都合により変更する場合があります。
- ・これまで放送した番組は、和歌山県教育委員会ホームページで視聴できます。「はばたく紀の国」で検索!
- ・本番組に関するお問い合わせは、和歌山県教育庁教育総務局総務課へ TEL:073-441-3637